

バックボーンスイッチの特長



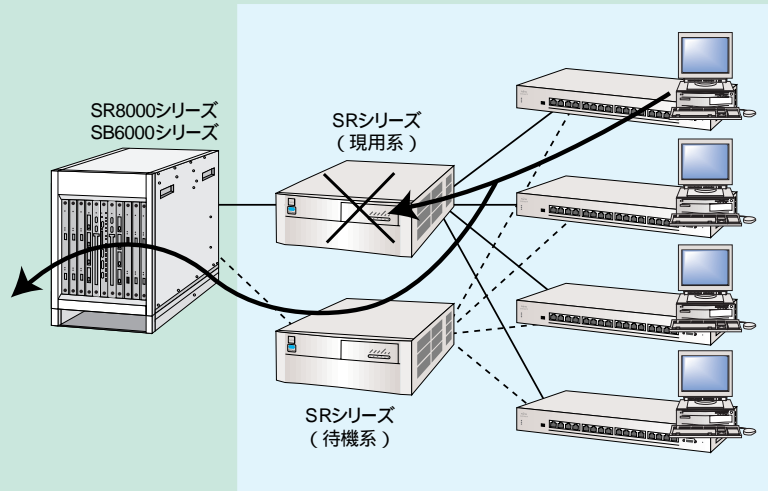
1. 信頼性を確保(ホットスタンバイ機能)

対応機種 **SR8800** **SR5400**

富士通のバックボーンLANシステムは、ホスト業務などの信頼性が求められるLANシステムに最適です。SRシリーズでは、2台を組み合わせることで、ホットスタンバイ機能を利用できます。これは、現用系 / 待機系の2台を使用するもので、現用系の装置障害時に、待機系の装置に自動的に高速切替を行います。この切替時間は、通常のRIP方式を使用した場合に比べて大幅に速く、わずか数秒から十数秒で通信を再開可能です。(通常のRIP方式を使用した場合は、通信の再開までに数分かかります) また、このホットスタンバイ機能は、ゲートウェイをひとつしか設定できないパソコンなどの装置でも障害時に設定の変更を行う必要がありません。ルータの切替を意識することなくご利用いただけます。

高信頼なシステムを実現するホットスタンバイ機能

- ・ 中継幹線の完全二重化が可能です。
- ・ 富士通オリジナル方式により、わずか数秒から十数秒の高速切替が可能です。



バックボーン
スイッチ



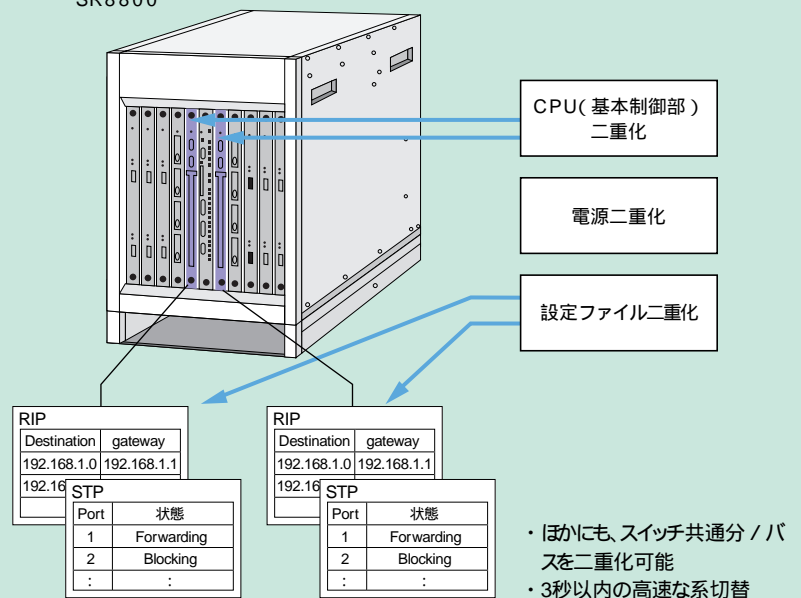
2. 業界最高水準のノンストップ機能

対応機種 **SR8800**

SR8800は、電源 / CPU / スイッチ共通部 / バス / プログラム格納領域 / 設定ファイル格納領域すべてを二重化することができます。これらの内部コンポーネントに障害が発生した場合でも、装置内の系切替を高速に実行し、3秒以内にエンドエンド通信を回復することができます。この機能の応用により、ファームウェアのバージョンアップ時も事実上ノンストップで運用することができます。また、マルチリンクイーサ機能、伝送路障害監視機能により、伝送路やボード / ポート単位のリセット、切り離しが可能であり、障害を局所化して運用を継続することができます。もちろん、全てのユニットについて活性挿抜 / 動的定義変更(全項目)が可能です。さらに、長寿命ファンの採用、ファンの活性交換、ファンの温度状態監視機能、異常高温時の自動電源遮断機能により、熱対策も万全です。

SR8800の二重化機能(3秒以内の高速切替可能)

SR8800



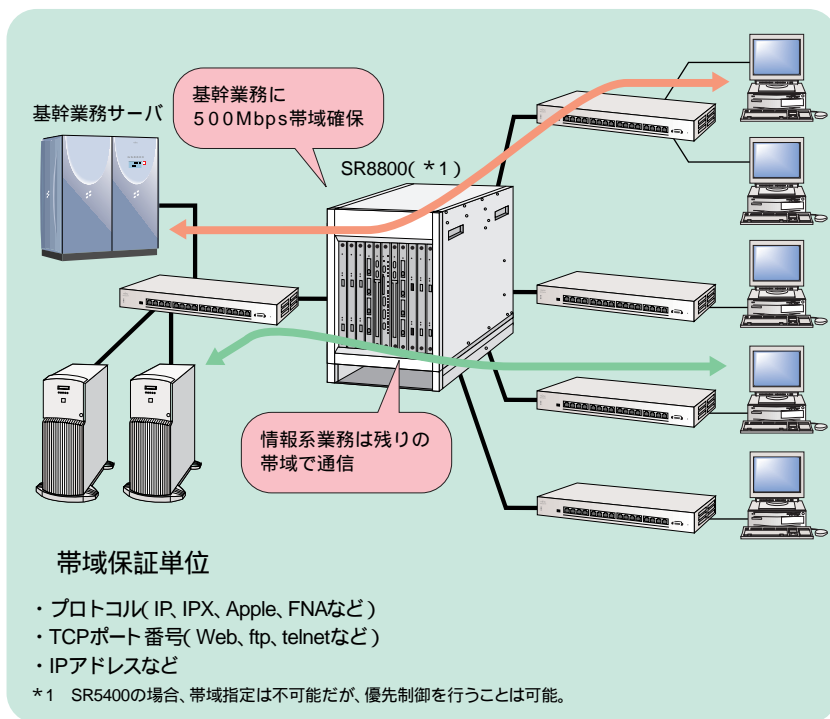
- ・ ほかに、スイッチ共通分 / バスを二重化可能
- ・ 3秒以内の高速な系切替



3. 充実したQoS(Quality of Service)機能

対応機種 **SR8800**

SR8800では、帯域保証 / 帯域制限 / 優先制御のすべての機能をサポートし、充実したQoS機能を提供します。SR8800のQoS制御は、対象条件としてIPアドレス(宛先 / 送信元)タグVLAN優先度、プロトコルタイプ、アプリケーション(TCP / UDPポート番号、宛先 / 送信元)を任意に組み合わせ、1000個まで定義できます。もちろんQoS制御による性能劣化はありません。また、ギガビットイーサ上でも、最小で50Kbps単位まで帯域指定が可能であり、きめ細かいサービスを提供します。さらに、マルチキャストトラフィック均一化により、一時的なトラフィック洪水を防ぐダムとしての機能を提供します。

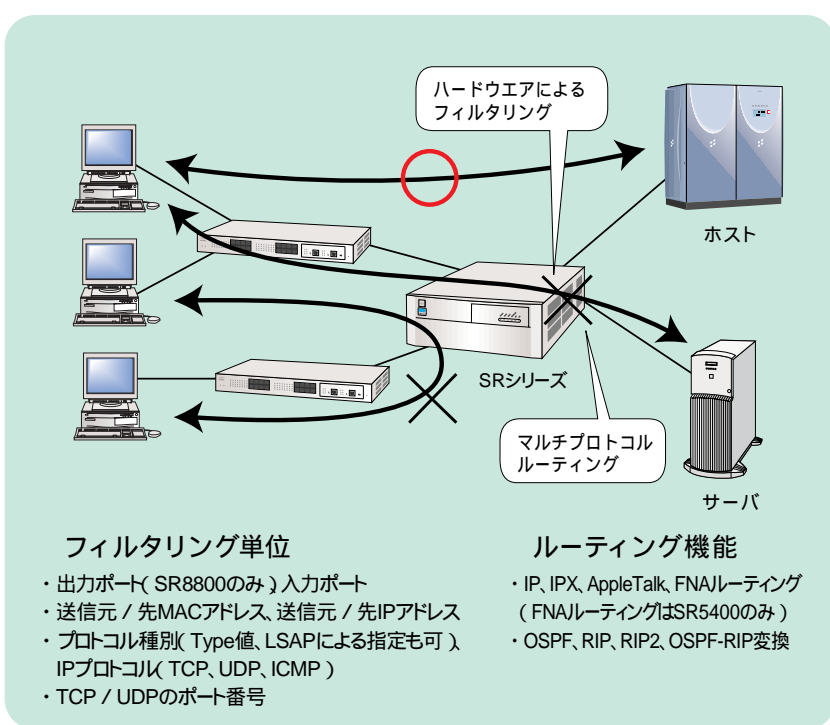


バックボーンスイッチ

4. 豊富なフィルタリング、ルーティング機能

対応機種 **SR8800** **SR5400**

SRシリーズは、ハードウェアレベルでIPルーティングを実現するレイヤ3スイッチです。このルーティング機能は、マルチプロトコルに対応し、ルータと同レベルのサポートを行っています。また、各種フィルタリングなどの機能もハードウェア化しているため、一般的なレイヤ3スイッチに比べ、この機能を使用した場合でも性能の低下を招くことなく利用可能です。ルーティングプロトコルもRIPに加え、RIP2、OSPFをサポートします。さらにオプションでAppleTalkルーティングも可能です。また、SR5400ではFNAルーティングもサポートします。また、SRシリーズは、レイヤ3のルーティングにより、配下のLANをいくつかのサブネット(より小さなネットワークの単位)に分けることができます。これにより、マルチキャストパケット(パソコンから自動送信されるパケット。サブネット内の全ノードに定期的に送信)などによるネットワーク内の各サーバ / パソコン / LANにかかる余分な負荷を減らすことができます。さらに、フィルタリングにより不要なパケットを廃棄してネットワークの負荷を軽減します。



のマークは富士通製品ならではの機能です。